

筋萎縮性側索硬化症 研修会・交流会

筋萎縮性側索硬化症（ALS）とは、手足・のど・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく病気です。

筋肉そのものの病気ではなく、筋肉を動かし、かつ運動をつかさどる神経（運動ニューロン）だけが障害をうけます。その結果、脳から「手足を動かせ」という命令が伝わらなくなることにより、力が弱くなり、筋肉がやせていきます。その一方で、知的能力、体の感覚、視力や聴力、内臓機能などはすべて保たれることが普通です。

当センターでは病気についての理解を深め、療養生活に役立てられるよう、研修会・交流会を開催します。ぜひご参加下さい。

日 時 平成28年7月23日（土）13時30分～16時30分

内 容

13時30分～14時30分

○ 講 演 「筋萎縮性側索硬化症の治療と療養生活について」

講 師 和歌山県立医科大学附属病院 神経内科

村田 顕也 准教授

14時45分～16時30分

○ 交流会

申込時に質問内容をお伺いし、講師に回答していただきます。

場 所 和歌山県立医科大学附属病院 4階大会議室
和歌山市紀三井寺811-1

対象者 筋萎縮性側索硬化症の患者・家族と関係者

定 員 50名（定員になり次第締め切り）

申込み 研修会名、氏名、電話番号、参加人数を、電話またはFAXでお申込ください。
また、手話通訳等が必要な場合は、6月30日（水）までにお申し出ください。

申込み・問合せ 和歌山県難病・子ども保健相談支援センター
担当： 松尾・葦澤
電話073-445-0520 FAX073-445-0603
和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学附属病院3階